

日本医療マネジメント学会雑誌投稿規程

1. 本誌は医療マネジメント全般に貢献する投稿論文で、他誌に未発表なもの（原著、総説、事例報告、紹介等）および学術総会記録、学会告示、学会報告および業務経過等を掲載する。

2. 投稿者（執筆者全員）は本学会会員に限る。

3. 投稿先：

原稿は下記宛に送付する。表書きに「原稿在中」と朱記すること。

日本医療マネジメント学会雑誌編集委員会
〒860-0806 熊本市中央区花畑町 1-1
三井生命熊本ビル 3階

4. 採否：

編集委員会において決定する。投稿原稿および電子媒体は原則として返却しない。

5. 論文の種類：

(1) 原著：独創性・新規性を有し、科学的に価値ある事実あるいは結論を含むもの。

(2) 総説：ある事項について系統的にレビューを行い、現在までの知見、将来の方向性、著者の見解などをあわせて示すもの。

(3) 事例報告：比較的限定された範囲で実施された活動で、一定の成果を挙げ、今後の発展・拡大が期待できるもの。

(4) 紹介：新規性を有する事項についての情報を提供するもの。

6. 書き方（電子媒体投稿形式）：

日本語または英語を用いて作成する。

原稿の作成は、以下の規定にしたがって入力し、電子媒体（CDまたはUSBメモリ等）データを提出する。合わせてプリントアウトした原稿4部（図表を含む）を提出する。プリントアウトした原稿にはページ番号をつけること。

(1) 欧文、数字、小数点、および斜線 [/] は半角を使用する。

(2) 字のフォントは和文では明朝体、英文では century、Times New Roman を用いる。

(3) 句読点は句点（。）と読点（、）を使用する。

(4) パソコン、ワープロ各機種とも Windows、Macintosh の Word 形式もしくはテキストファイル形式を用いる。

(5) 電子媒体にはラベルを貼り、著者名、論文名、入力機種ソフト名、バージョン等の必要事項を明記する。

(6) 日本医療マネジメント学会学術総会において発

表した内容は、その旨（学会名、西暦年、開催都市名）を本文末尾に付記することとする。

原稿の形式

1) 表題 }
2) 著者名 } 和・英併記のこと
3) 所属 }

4) 和文要旨：600字以内

英文要旨：300words 以内

5) キーワード：内容を示すキーワード3語～5語、和・英併記

6) 本文（原著の場合は、要旨、英文要旨、序文、方法、結果、考察、結語、文献の順とし、他はこれに準じる）、図および表の順とする。

外国語、原語は明瞭な欧文活字体を用いる。初出はフルスペルで記載し略さない。日本語化したものはカタカナを用いてよい。

7. 記号と数字：

数字はアラビア数字を用い、数量の記号は cm、mm、 μ m、nm、l、dl、ml、kg、g、mg、 μ g、ng、pg、 $^{\circ}$ C、%、hr、min、sec などを用いる。

年は西暦で記載することとする。但し引用した文献の原文が元号記載である場合は、元号の後ろに（ ）で西暦を記載する。

8. 図、表：

図、表は原則として Excel または PowerPoint 形式とする。図、表は別紙に書き、図1、表1と必ず番号を記し、説明をつけ挿入場所を本文に赤字で指定する。図、表のタイトルは図では図の下に、表では表の上に明記する。図、表はスライド発表そのままの形でなく、論文に適した形に作り変えること。

白黒印刷で明瞭に読み取れる形に作成して、提出すること。カラー図表・写真等を使用する場合の費用は著者負担とし、カラー料金は別途に定める。

9. 文献：

文献は、重要なもののみとし本文中の引用箇所の右肩に片カッコ付きで引用順に番号を付し、その番号順に論文の最後の文献の部に下記の例にならって一括して収載する。

邦文雑誌名は医学中央雑誌、欧文雑誌名は Index Medicus の省略方法に準じる。

なお、著者が3名以上になる場合は、最初の3名のみ記載し下記の例示にならって記載する。

【雑誌の場合】

番号) 著者名: 題名、誌名 巻: 始頁~終頁、年
記載例)

- 1) 長谷川友紀、藤田茂、城川美佳 他: 医療事故の経験と原因究明体制に関する調査研究、日本医療マネジメント学会雑誌 7: 404~409、2006
- 2) Arico M, Valsecchi MG, Camitta B et al: Outcome of treatment in children with Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia, N Engl J Med 342: 998~1006, 2000

【書籍・単行本の場合】

番号) 著者名: 題名、誌名、(企画・監修・編集者名)、始頁~終頁、出版社名、地名、年
記載例)

- 3) 芳賀克夫、宮崎久義: クリティカルパスとEBM、クリティカルパス最近の進歩2004、(日本医療マネジメント学会編集)、pp65~75、じほう、東京、2004
- 4) Rhame FS: The ecology and Epidemiology of Pseudomonas aeruginosa. Pseudomonas aeruginosa (Sabath LD ed), pp31~51, Hans Huber Publishers, Bern, 1980

【ニュース等の場合】

番号) 発信元・誌名: 「題名」、発信元、掲載年月日
記載例)

- 5) 薬事日報: 「電子カルテとアンブレピッカー 連結—安全対策、時間短縮、コスト低減を実現」、薬事日報第9869号、2004年2月2日

【インターネットからの文献引用】

番号) 著者名: タイトル、URL、発行もしくは更新年月日 (記載があるときのみ)、最終アクセス年月日
記載例)

- 6) 厚生労働省: 新たな医師臨床研修制度のホームページ、<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/isei/rinsyo/>、更新2005年6月23日、アクセス2005年8月16日
- 7) International conference on harmonisation of technical requirements for registration of pharmaceuticals for human use. The future of ICH—Revised 2000, http://www.ich.org/MediaServer.jserv?@ID=347&@_MODE=GLB, accessed on Feb 7, 2005

10. 長 さ:

- 1) 原著形式の投稿論文は、組み上がり6頁以内とする。邦文は400字詰原稿用紙で図、表、要旨を含めて24枚程度 (字数にして9,600字分) が目安となる。英文は図、表、要旨を含

めて16枚程度 (4,000 words 分) が目安となる。なお、図、表は簡単なもので1枚あたり400字詰原稿用紙1枚程度、やや複雑になると原稿用紙2~3枚に相当する。

- 2) 総説、事例報告、紹介は組み上がり4頁以内とする。邦文は400字詰原稿で図、表、要旨を含めて15枚程度 (字数にして6,000字分) が目安となる。英文は図、表、要旨を含めて10枚程度 (2,600 words 分) が目安となる。

- 3) 図、表は最小限とする。

11. 掲載料:

原著形式の投稿論文では、7頁以上分 (6頁まで無料)、総説、事例報告、紹介は5頁以上分 (4頁まで無料) については実費負担とする。

12. 受理日:

投稿論文の受理日は、編集委員長の指名した編集委員の校閲を受けた後、最終的に当学会雑誌への掲載を許可された日付とする。

13. 校正:

著者校正は行わない。校正は編集委員会において行う。

14. 別刷:

別刷は30部まで無料とする。超過分については50部を単位とし、投稿者は別途に定める別刷料金表に準じた費用を実費負担する。所要部数は投稿時に明記し、別刷送付先及び請求先を記載すること。

15. 論文等の著作権について:

当学会雑誌に掲載された論文等の著作権は当学会に帰属する。

(2017年7月8日改訂)

投稿の注意事項

1. 投稿規程を良く読み、投稿チェックリスト・誓約書ならびに同意書・投稿時利益相反自己申告書を再度見直し署名の上、原稿と共にお送りください。「投稿規程・投稿チェックリスト・誓約書ならびに同意書・投稿時利益相反自己申告書」は学会ホームページ <http://jhm.umin.jp/> からダウンロードすることができます。投稿規程から外れている論文は受理されません。
2. 投稿者は当学会雑誌への投稿論文をその論文審査期間中に他の学会誌等に投稿することはできません。
3. 二重投稿、盗用など重大な過ちが判明したときは編集委員会および理事会の議を経て処分が決定されます。
4. 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」、「ヘルシンキ宣言」などの倫理的規定を遵守していることが必要です。